

# 東京湾海況情報 20-09

東京湾水質調査結果（平成20年12月分）

平成20年12月11日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp)

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査(内湾：12/1(わかふさ)、内房：12/1(ふさみ丸))

データ提供：神奈川県水産技術センター

資料参照：関東・東海海況速報、湾口海況図、漁海況旬報

## 水温・塩分(図1～3、表1)

表層水温は、内湾では14～16℃とほぼ平年並でしたが、内房中部以南では17～20℃と平年より1℃以上高めました。

表層塩分は、28～33台後半と全域で平年よりやや低めでしたが、内房では先月より1～1.5程度高くなっていました。

縦断面の鉛直分布を見ると、水温塩分ともに表層から底層までほぼ均一となっており、水塊の混合が一層進んだ模様です。

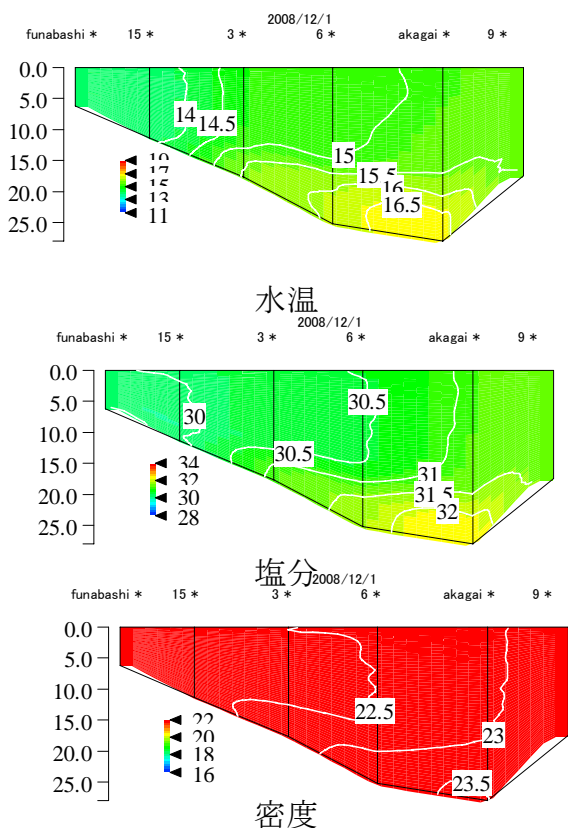


図2 内湾の鉛直分布

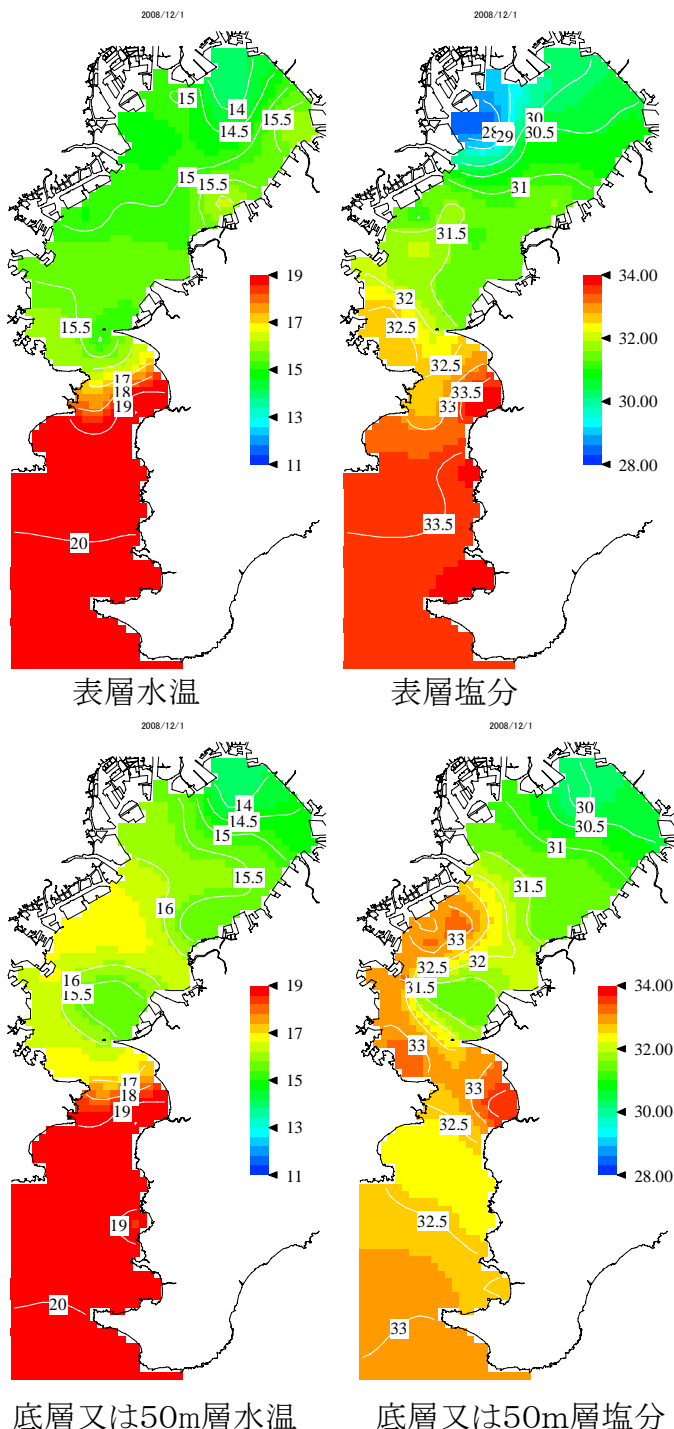


図1 東京湾の水温・塩分分布

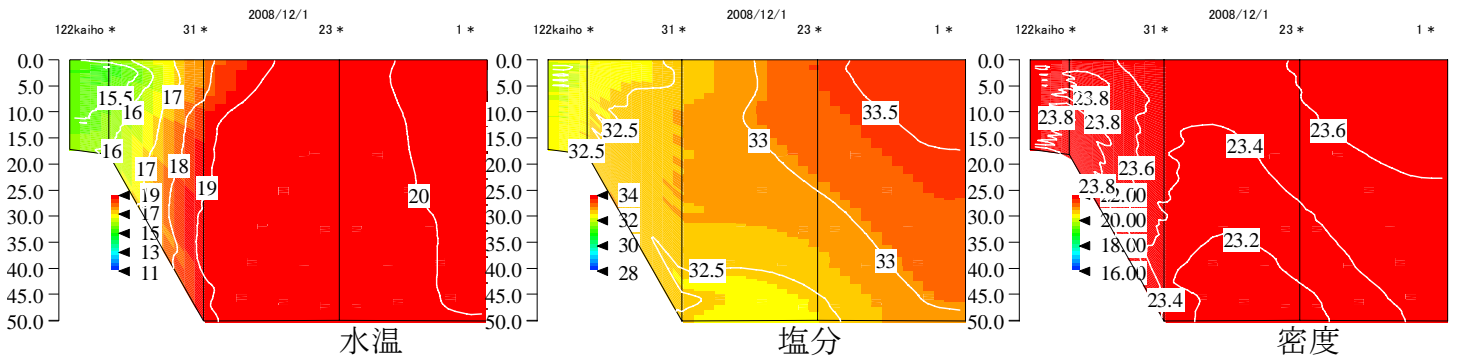


図3 内房の鉛直分布

### 赤潮の状況(図4、表1)

赤潮は全域で見られず、内湾北部でも透明度が3m以上を示していました。

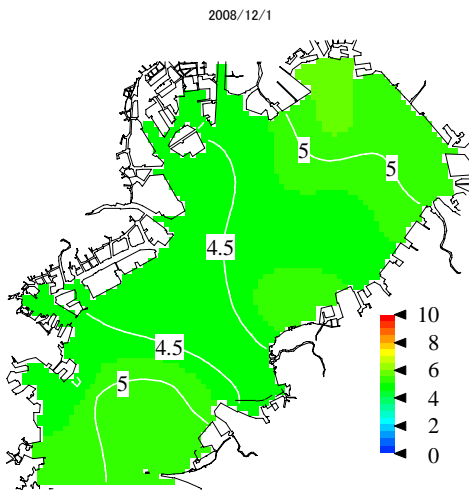
プランクトンは、全体に少なくなっており、珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*)、ニッチア (*Nitzschia sp.*)、キートケロス (*Chaetoceros sp.*) 及びタラシオシーラ (*Thalassiosira sp.*) が見られる程度でした。

植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、センサー値ですが内湾で $10 \mu g/l$  前後でした。

千葉県赤潮の目安は以下のとおりです。  
 色: オリーブ～褐色、酸素飽和度: 150%以上、透明度: 1.5m以下、  
 pH: 8.5以上、クロロフィルa量:  $50 \mu g/l$



図4 透明度の分布(m)



### 貧酸素水塊の状況(図5、表1)

内湾底層の溶存酸素は、全域で $5 ml/l$  前後であり、貧酸素水塊は見られませんでした。

千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量  $2.5 ml/l$  (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

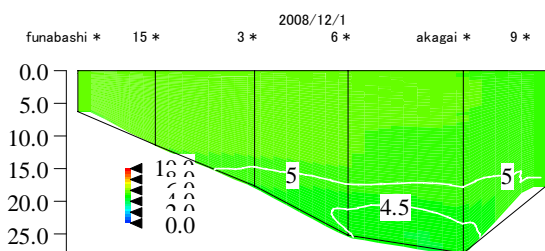


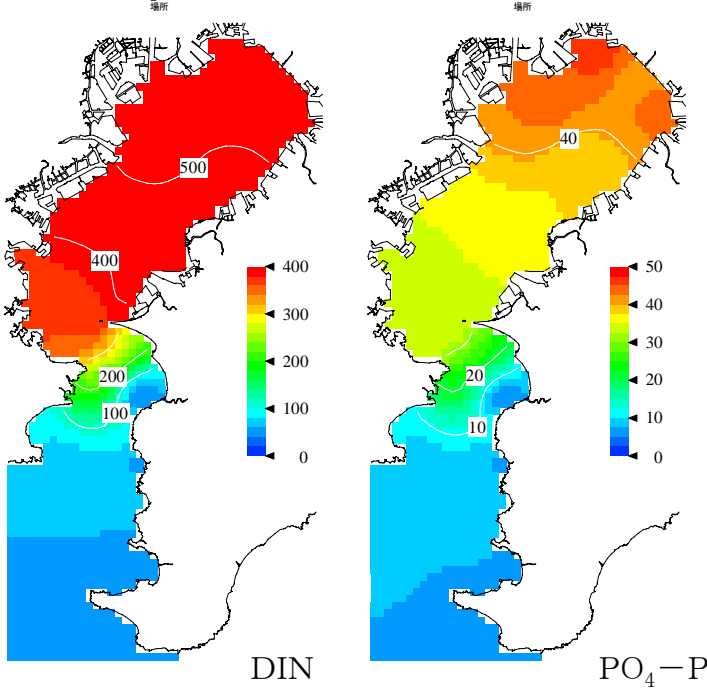
図5 内湾のDO ( $ml/l$ )  
 (上: 底層分布、下: 鉛直分布)

**栄養塩類(図6、表1)**

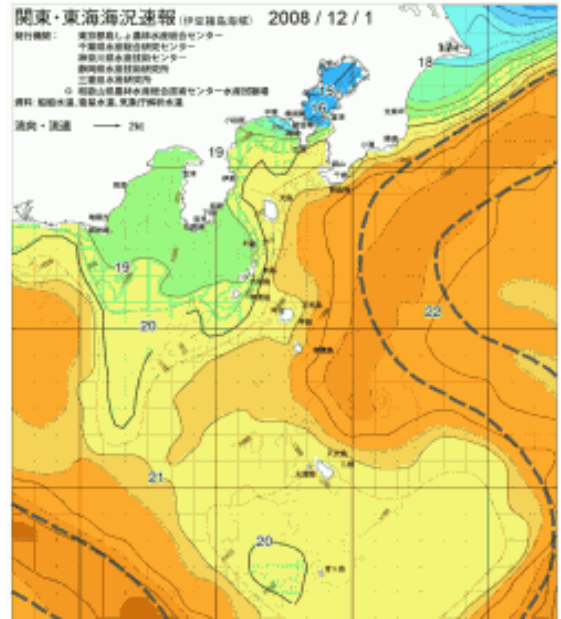
表層の栄養塩類は、内湾ではDINで200  $\mu\text{g/l}$  以上、PO4Pで20  $\mu\text{g/l}$  以上とりの生育には十分な値を示していましたが、大貫ベタ流し漁場から湊ベタにかけてDINで100  $\mu\text{g/l}$  以下PO4Pで10  $\mu\text{g/l}$  以下に急激に低下していました。

**黒潮の動き(図7)。**

黒潮はC型で推移しており伊豆諸島北部海域の冷水塊を大きく迂回して房総沿岸を接岸しながら北東方向に流れています。このため八丈島周辺から大島東水道に向かう強い流れが生じており、内房域に影響を及ぼしている模様です。



**図6** 表層の栄養塩分布 ( $\mu\text{g/l}$ )



**図7** 黒潮の動き(12月1日)

**表1** 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成20年12月1日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO ( $\text{ml/L}$ )	溶存無機 態窒素 ( $\mu\text{g/l}$ )	リン酸 態リン ( $\mu\text{g/l}$ )	アンモニア 態窒素 ( $\mu\text{g/l}$ )	クロロフィル a量 ( $\mu\text{g/l}$ )	
内湾	船橋	3.4 (4.7)	14.0 (14.4)	29.96 (31.24)	8.2 (8.2)	5.3 (5.2)	566 (558)	46 (52)	103 (94)	13.2
	st. 15	3.4 (5.0)	13.7 (14.7)	30.04 (31.29)	8.2 (8.2)	5.3 (4.7)	562 (533)	44 (44)	98 (84)	12.3
	st. 3	7.5 (5.4)	14.7 (14.9)	30.44 (31.05)	8.2 (8.2)	4.7 (3.9)	595 (546)	42 (40)	106 (81)	9.9
	st. 6	6.8 (6.5)	14.8 (15.0)	30.53 (31.20)	8.2 (8.2)	4.5 (4.0)	540 (547)	39 (41)	74 (84)	11.3
	st. 9	6.5 (6.6)	15.2 (15.3)	31.12 (31.84)	8.2 (8.2)	5.0 (4.7)	408 (430)	35 (35)	44 (54)	10.0
	盤洲Cパイ	5.5 (5.9)	16.2 (15.7)	31.48 (31.46)	8.2 (8.2)	4.9 (4.1)	449 (484)	39 (41)	82 (67)	9.4
	st. 8 (盤洲Aパイ)	6.0 (5.9)	15.2 (15.3)	31.28 (31.80)	8.2 (8.2)	4.4 (4.3)	422 (451)	36 (38)	58 (65)	10.2
	富津ベタ	4.5 (5.3)	15.2 (15.4)	31.29 (32.11)	8.2 (8.2)	5.1 (4.8)	403 (372)	33 (33)	67 (49)	10.1
内房海域	第2海ほ下	6.0 (7.5)	15.0 (16.0)	32.10 (32.94)	8.2 (8.2)		363 (309)	33 (29)	57 (40)	0.3
	st. 31	13.0 (11.8)	17.7 (16.5)	32.57 (33.17)	8.3 (8.2)		185 (257)	19 (24)	17 (31)	0.5
	st. 23	18.0 (17.5)	19.7 (18.2)	33.43 (34.10)	8.3 (8.2)		52 (115)	7 (13)	6 (17)	
	st. 1	16.0 (19.4)	20.3 (18.5)	33.68 (34.37)	8.3 (8.2)		35 (77)	5 (10)	6 (14)	0.6
	st. 10 (下洲沖)	7.5 (9.5)	16.5 (16.5)	32.77 (33.25)	8.2 (8.2)		225 (250)	21 (24)	18 (30)	
	st. 12 (湊沖)	8.5 (8.1)	19.4 (16.2)	33.84 (33.25)	8.4 (8.2)		27 (236)	4 (22)	4 (29)	
	st. 22 (保田沖)	14.0 (14.7)	19.9 (18.2)	33.84 (34.15)	8.3 (8.2)		39 (110)	5 (13)	6 (18)	
	st. 24 (富浦沖)	11.0 (14.4)	20.0 (18.5)	33.59 (34.29)	8.3 (8.2)		39 (89)	5 (11)	6 (17)	
st. 26 (館山湾内)	8.5 (14.9)	20.2 (18.7)	33.77 (34.34)	8.3 (8.2)		31 (80)	5 (9)	5 (15)		

( ): 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去8年分)

\* 透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。なお、今月のクロロフィルa量は、センサー値で示しています。